

東燃ゼネラル石油株式会社

2005年1-3月期業績および中間・年間予想

2005年5月16日

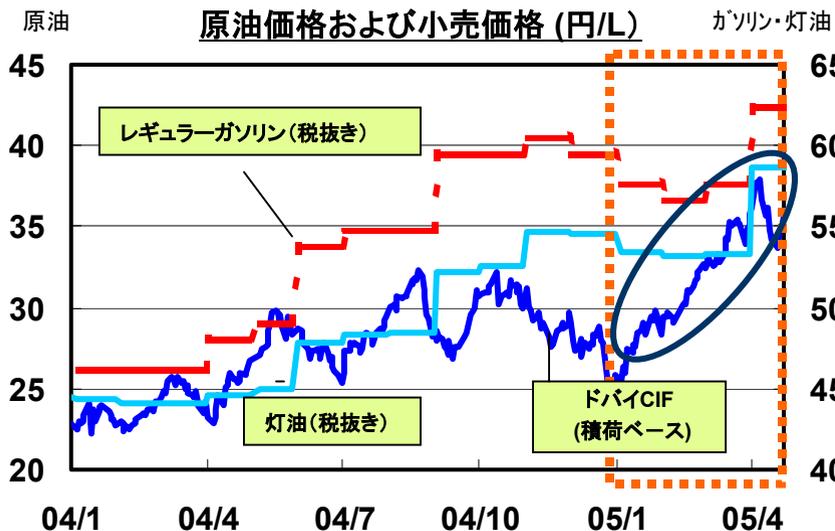
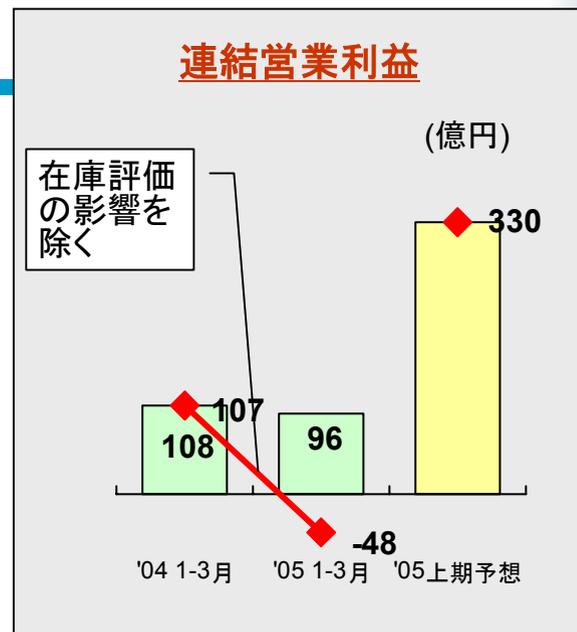


見通しに関する注意事項

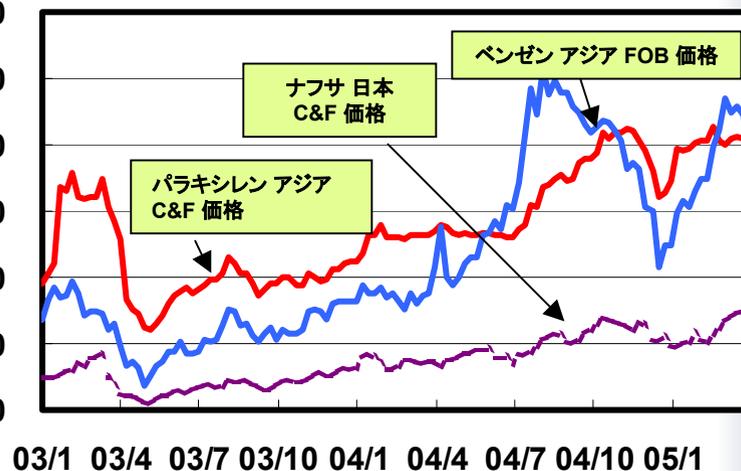
この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略などは、日本経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、市場の競争状況などにより大きく影響されます。そのため、実際の業績はこれら見通しとは大きく異なる可能性がありますので、これらの計画、見通しに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

決算ハイライト

- 2005年1-3月期営業利益は前年同期比僅かに減少
 - » 製造・販売ならびに経費削減等の主な事業活動は当初の計画通り、またはそれを上回る成果
 - » 石油化学製品マージン・利益は好調を持続
 - ・ 引き続き活発な需要を反映
 - » 原油価格急騰の影響により石油製品のマージンは減少
 - ・ 原油調達コストを積荷時点で認識するため、業界他社より1ヶ月早く認識
 - ・ 4-6月期にはマージンが改善する見込み
- 通期・中間期の業績および配当の見通しは変更せず



芳香族製品 アジア スポット 価格トレンド (\$/トン)



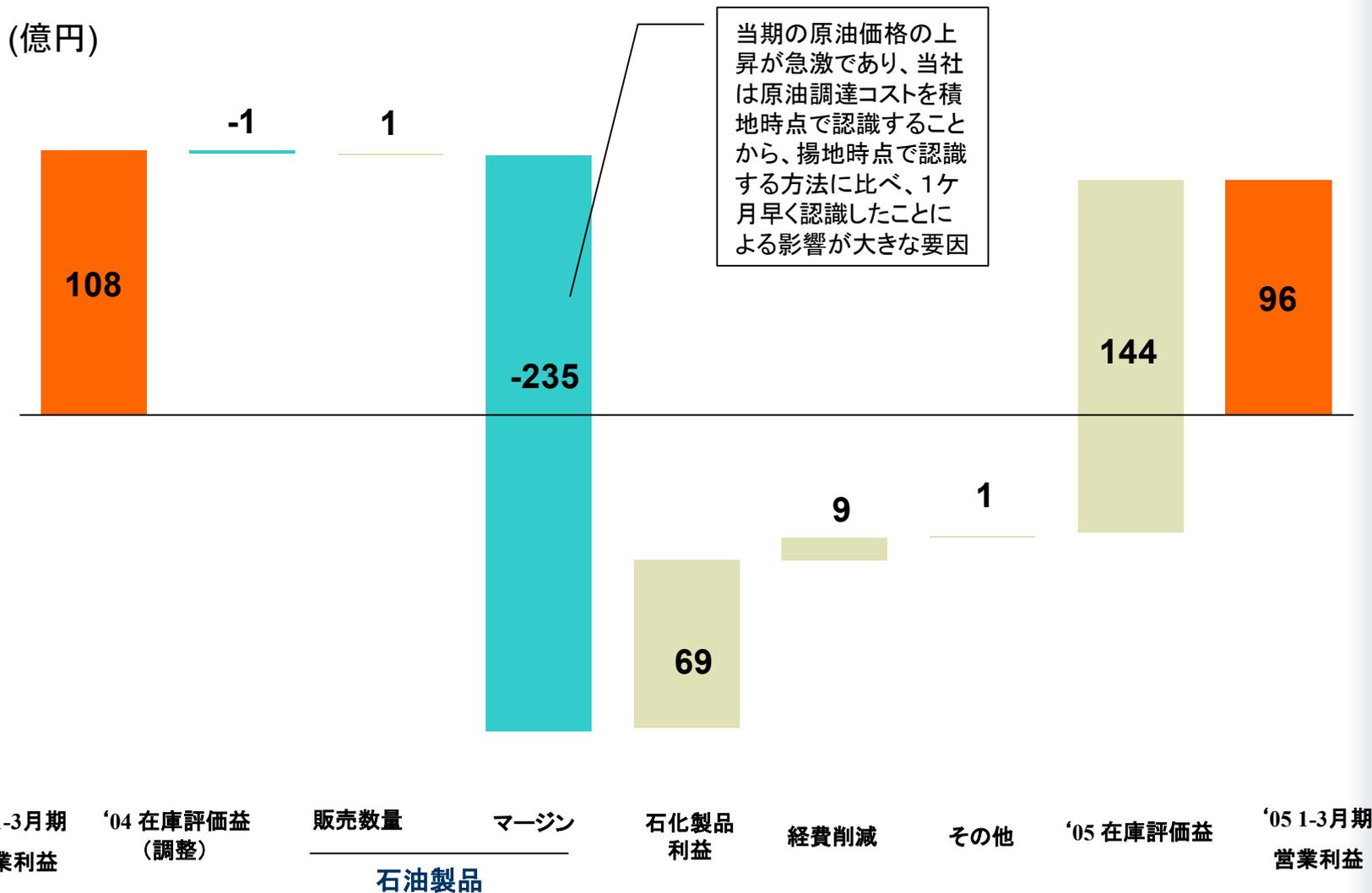
損益計算書 [1-3月期, 連結]

(億円)	'04 1-3月期	'05 1-3月期	増/(減)
売上高	5,574	6,633	1,059
営業利益	108	96	-12
経常利益	120	104	-16
特別損益	0	-4	-4
当期純利益	77	64	-13
在庫評価の調整	-1	-144	-143
調整後営業利益	107	-48	-155
石油部門 他	29	-205	-234
石油化学部門	78	157	78

営業利益の要因分析

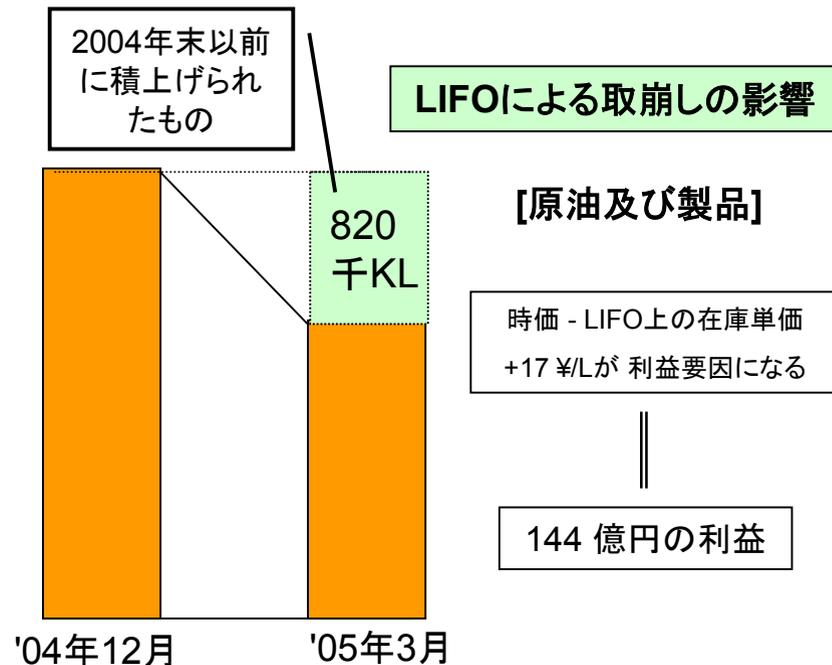
[1-3月期業績の比較、2005年 vs. 2004年; 連結]

(億円)



在庫評価の影響

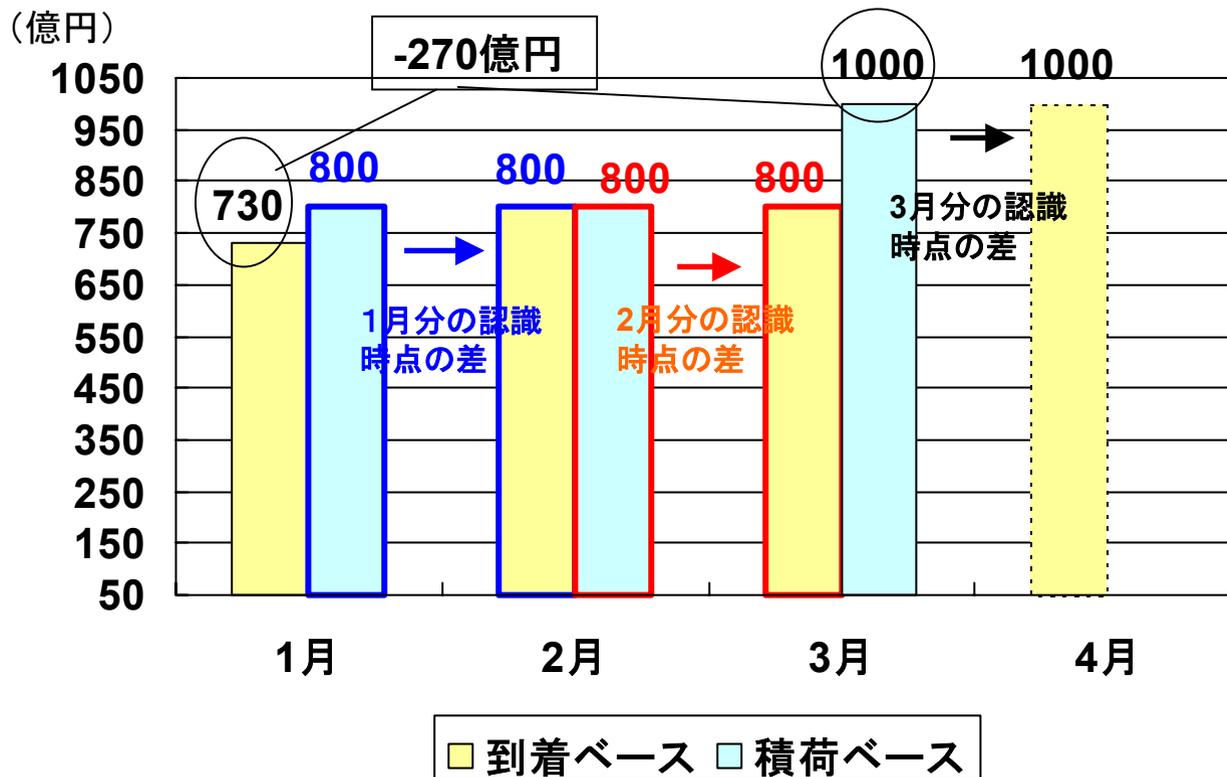
- 1-3月期営業利益には在庫変動に伴う144億円の増益要因が含まれる
 - » LIFO(後入れ先出法)による原油・製品在庫取り崩しによる利益
- 半期および通期の在庫評価の影響
 - » 1-3月期のLIFOによる利益は4-6月に振り戻されると見込む



- 石油業界の原油調達コストは、到着ベースの平均法に基づく評価が一般的。平均法では、1-3月期のように原油価格が高騰している局面では、在庫評価による増益要因となる。

原油価格を1ヶ月早く認識することの影響

- 当社は原油調達コストを積荷時点で認識するため、原油価格の変動を業界他社よりも約1ヶ月早く認識する
- 原油価格は'05年1-3月期中にドバイ原油で約13ドル/バレルの急騰
- ドバイ原油をもとに試算すると、当社の会計方針では、期中の原油調達コストはリッターあたり約3円高く業界ベースよりも認識される
- 原油価格を1ヶ月早く認識することの影響はドバイ原油ベースでおよそ270億円にのぼるが、価格変動がなければ、4-6月期には実質的に解消されると予測される



販売数量・設備稼働率

- 厳冬により大幅に伸びた灯油をはじめ、多くの製品で前年同期を上回る販売数量
- 前年同期実績、業界平均実績をとともに上回る設備稼働率

(単体、パターを除く)					業界
		'04年1-3月期	'05年1-3月期	増減	増減
製品	(千KL)				
	ガソリン	2,919	3,005	2.9%	1.7%
	灯油	1,637	1,936	18.3%	5.1%
	軽油	1,211	1,294	6.8%	1.3%
	A重油	1,218	1,126	-7.5%	-1.0%
	C重油	883	906	2.6%	-7.5%
	LPGその他	927	971	4.8%	N/A
部門別	販売部門(セネラルブランド向)	2,267	2,448	8.0%	
	精製部門(エッソ/モービル/キグナス向)	6,527	6,789	4.0%	
	小計	8,795	9,237	5.0%	0.6%
	ナフサ	845	762	-9.8%	
	化成品	264	280	6.3%	
	その他*	2,775	2,610	-6.0%	
	総計	12,679	12,890	1.7%	
	設備稼働率 (単体/連結)	90%/87%	93%/87%		91%

*“その他”: 潤滑油、原油、輸出、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む

キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]

(億円)

‘05年1-3月期 揮発油税調整後

営業活動 / 投資活動

税引前当期利益	100	
設備投資額 / 減価償却費	-16	
資産売却	3	
たな卸資産	157	
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	-42	299
法人税等支払額	-223	
その他	-1	

財務活動

借入金 of 増(減)	122	-219
配当金の支払額	-99	

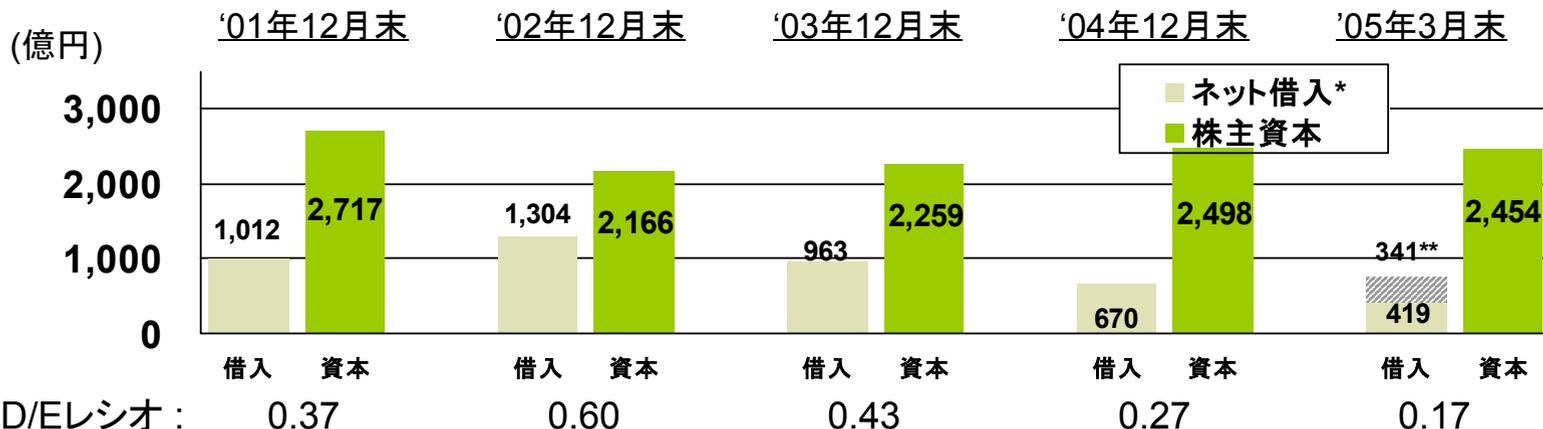
現預金の増加額

1

- 財務状態は引き続き改善
- 健全な財務状態

» 業界環境の先行きが不透明な中、資本構成に関する様々な選択肢について注意深く考察を継続

3月末が平日だったため、1-3月期において揮発油税を1ヶ月分多く支払った結果、ネット買掛金(買掛金+未払揮発油税-売掛金)が341億円減少し、借入金が同額分増加



ネットD/Eレシオ:

* 現預金・貸付金・揮発油税等の影響を除いた借入金, **1ヶ月分の揮発油税の影響

業績予測 [連結]

- 2月に発表した2005年の業績予想と配当見通しに変更なし

(億円)	業績予想(2月発表)			(上期予想との差)
	'05年1Q 実績(B)	'05年上期 (A)	'05年通期	'05年2Q (A)-(B)
売上高	6,633	11,600	23,700	4,967
ー 営業利益	96	330	650	234
経常利益	104	330	660	226
特別損益	-4	-10	-17	-6
純利益	64	200	400	136
在庫評価の影響	-144	0	0	+144
→ 調整後営業利益	-48	330	650	378